



**ROCK PAINT**

032ライン 3200番級・2200番級

# 弾ビニ<sup>®</sup>シリコンII 弾ビニ<sup>®</sup>スーパーIIシリーズ

シリコンアクリル系・アクリルエマルション系防水形外装薄塗材E

## 単層弾性

〔防水形外装薄塗材E〕  
低汚染性／高耐候性  
防藻・防カビ性  
防水性・透湿性

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます



ロックペイント株式会社

# 弾ビニ<sup>®</sup>シリコンII・弾ビニ<sup>®</sup>スーパーII

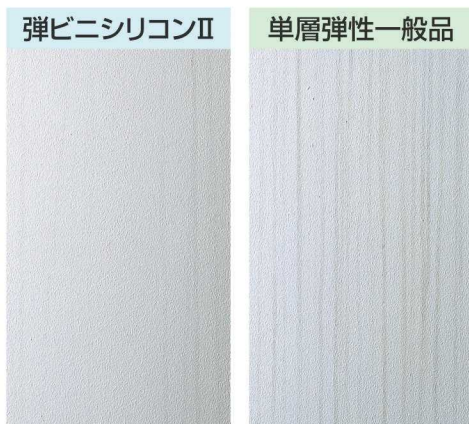
単層弾性塗材である弾ビニIIシリーズには、シリコンアクリル系の**弾ビニシリコンII**と、アクリル系の**弾ビニスーパーII**があります。耐汚染性、耐候性、防水性にすぐれ、またその柔軟性は、モルタル等仕上面に発生するクラック<sup>\*</sup>によく追従し、外部から雨水の浸入を防止します。<sup>\*</sup>(※地震など通常を超えた特殊な力が起こった場合、クラック追従を発揮できないことがあります。)

## 特長

### 低汚染性

特殊架橋型で表面のタックが少ない緻密な塗膜が形成されるため汚れが付着しにくく、また汚れの成分(粉じん、油分)が塗膜に浸透しにくくなっています。特に弾ビニシリコンIIは、シリコン成分の低帯電性により、よりすぐれた低汚染性を示します。

#### 【屋外雨すじ汚染試験結果】



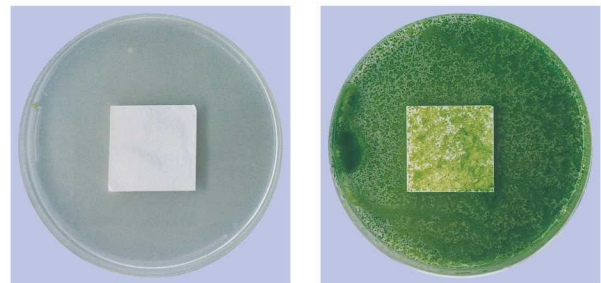
### 高耐候性

高性能エマルジョン樹脂の採用で、従来のアクリル系単層弾性と比較して、一層耐候性、耐久性がすぐれています。

### 防藻・防カビ性

防藻・防カビ剤の配合により、藻やカビの発生を抑制し、清潔な住環境を保ちます。

#### 藻抵抗試験結果(4週間後)

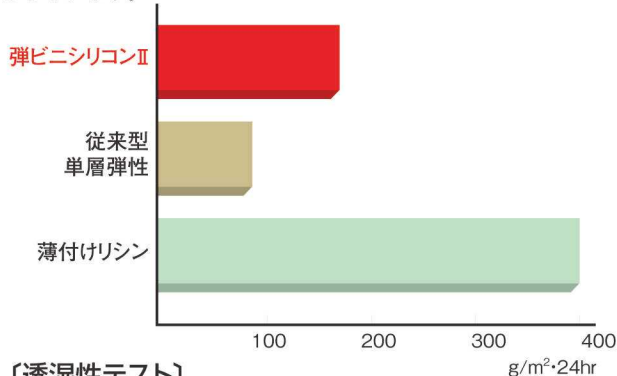


弾ビニシリコンII

市販単層弾性塗材

### 透湿性・防水性

外部からの雨水等の浸透を防ぐ防水性と水蒸気の透湿性を合わせてもっています。



#### 【透湿性テスト】

JIS Z 0208 防湿包装材料の透湿度試験方法(カップ法)による。

## 用途

新設：コンクリート、モルタル、セメント系各種ボード類、ALCなど  
塗替改修：アクリルリシン、吹付タイルその他旧塗膜

#### ■製品・容量

上塗り：	弾ビニシリコンII	ホワイト	16kg
	弾ビニシリコンII	ウィークホワイト	16kg
〔つや有〕	弾ビニスーパーII	ホワイト	16kg
	弾ビニスーパーII	ウィークホワイト	16kg
	(調色は淡彩色、中彩色のみの対応となります。)		
下塗り：	ロックカチオンシーラーマルチⅢ(透明)		15kg
	ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト		15kg
	ビニロックエラストックフィラーⅢ		16kg

### クラック追従

低温および高温における伸びにすぐれ、素地に発生するクラックによく追従します。

### すぐれた作業性

塗装時の泡の発生が少ないので、ピンホールができにくく、きれいなパターンが得られます。また塗装工程が簡単で経済的です。

## 性能

〔JIS A 6909 防水形外装薄塗材Eを参考〕

項目	規格	結果	
容器の中での状態	塊がなく一様であること	合格	
塗膜の状態	見本品に比べ大差がないこと	合格	
60°鏡面光沢度	75以上	合格	
隠ぺい率	0.93以上	合格	
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	ひび割れないこと	合格	
低温安定性	塊がなく、組成内の分離及び凝集がないこと	合格	
付着強さ	標準状態	0.7N/mm <sup>2</sup> [7.1kgf/cm <sup>2</sup> ]以上	合格
	浸水後	0.5N/mm <sup>2</sup> [5.1kgf/cm <sup>2</sup> ]以上	合格
透水性(B法)	0.5ml以下	合格	
温冷繰返し作用に対する抵抗性	試験体の表面にはがれ、ひび割れ、ふくれがなく、かつ著しい変色及び光沢低下がないこと	合格	
耐衝撃性	ひび割れ、著しい変形及びはがれがないこと	合格	
耐候性(A法)	ひび割れ及びはがれがなく、変色の程度がグレースケール3号以上であること	合格	
伸び率	20℃時	120%以上	合格
	-10℃時	20%以上	合格
	浸水後	100%以上	合格
	加熱後	100%以上	合格
伸び時の劣化	はく離、反り及びびれがなく主材に破断及びひび割れないこと	合格	

## 仕上見本



ローラー塗装

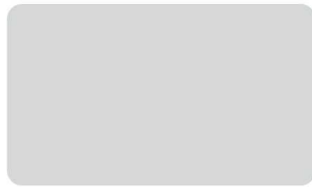


ローラー塗装  
(リシン面塗り替え)

## 提案色



↑ ホワイト



↑ CW56 (5.6GY8.5/0.2)



↑ CW111 (5.6Y9.0/1.1)



↑ CW109 (4.7Y8.4/1.3)



↑ CW57 (5.5GY7.9/0.2)



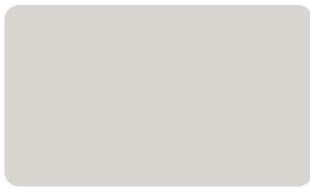
↑ CW359 (1.6GY8.3/0.9)



↑ CW331 (2.0Y8.3/1.4)



↑ CW710 (2.2Y8.8/1.9)



↑ CW226 (3.7Y7.9/0.5)



↑ CW492 (2.4Y7.9/2.4)



↑ CW332 (1.6Y7.5/1.6)



↑ CW105 (8.8YR8.1/2.0)



↑ CW326 (4.8Y6.9/0.8)



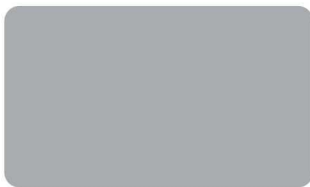
↑ CW506 (3.1Y7.8/3.0)



↑ CW333 (2.5Y6.9/1.7)



↑ CW471 (5.7YR7.3/2.9)



↑ CW248 (8.8BG6.6/0.3)



↑ CW249 (1.6B5.8/0.3)



↑ CW305 (8.2YR6.8/1.4)



↑ CW486 (2.7Y7.1/2.2)

(注) ●この色見本は紙に塗装されていますので、実際の塗料に比べ色・ツヤに差異があります。色彩については塗り板等でご確認の上、ご注文ください。

●色彩は淡彩色、中彩色のみの対応となります。

## 標準塗装仕様

### ■コンクリート、モルタル等旧塗膜の塗り替え（下塗り ロック建築用シーラーを使用）

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能時間 (23°C)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分などはワイヤーブラシ、皮スキなどのケレン具を用いて完全に除去する。またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどを高圧水洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	033-1179 ロックカチオンシーラーマルチⅢ	水	ハケ、ローラー： 0 (通常不要)	1	0.07~0.13	3時間以上
中塗り	032-2203ベース 弾ビニスーパーⅡ 指定色 または	水	砂骨ローラー： 0~2	1	0.7~0.9	4時間以上
上塗り	032-3203ベース 弾ビニシリコンⅡ 指定色	水	中毛ローラー： 3~10	1	0.3~0.5	4時間以上

注) ●下塗りには033-1179(透明)の他に、033-1160ロックカチオンシーラーマルチ ホワイトがあります。  
●ロックカチオンシーラーマルチはカチオン型であり、他の水性塗料と混合するとゲル化しますので、絶対に避けてください。また塗装用具の共用も避けてください。  
●吸い込みの著しい部材については、標準塗付量よりも多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。

### ■コンクリート、モルタル等旧塗膜の塗り替え（下塗り 可とう形改修塗材Eを使用）

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能時間 (23°C)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分などはワイヤーブラシ、皮スキなどのケレン具を用いて完全に除去する。またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどを高圧水洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	032-2106 ビニロックエラストックフィラーⅢ	水	ローラー： 5~10 エアレス： 5~10	1	0.3~0.5	4時間以上
中塗り	032ライン 弾ビニスーパーⅡ 指定色 または	水	砂骨ローラー： 0~2	1	0.7~0.9	4時間以上
上塗り	032ライン 弾ビニシリコンⅡ 指定色	水	中毛ローラー： 3~10	1	0.3~0.5	4時間以上

注) ●ビニロックエラストックフィラーⅢはリシンガン、タイルガンを使用することができます。吹き付けける場合は、施工時の温度、希釈率、ガンの口径、塗付量などによって異なりますので、あらかじめ試し塗りを行い、条件を設定してから塗装してください。

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などにより多少異なる場合があります。また上記以外の塗装仕様につきましては、最寄りの営業所にお問い合わせください。

## 施工上の注意事項

- 塗料はできるだけ泡が混入しないように注意してかき混ぜ、全体を均一にしてから使用してください。
- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 気温が低いときや湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下や、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測される場合は外部の塗装は避けてください。
- 改修塗装の場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、チョーキングなどはディスクサンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、高圧洗浄を行った後、24時間以上乾燥させてください(気温23℃、湿度65%の場合)
- 絶えず結露が発生するよう場所、用途での使用は避けてください。
- 表面が乾きやすいため、開年後はすみやかに使い切ってください。
- 屋外セメント系素地に段差や素欠などがある場合には、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。エマルジョンパテの使用は避けてください。
- 調色は、ロックトーンカラー7000(ホワイトに対して5%以内、ウィークホワイトに対して7%以内)をご使用ください。
- 弾性スタッコの塗り替えには適していません。
- 旧塗膜が活膜の場合、表面荒らしが必要な場合があります。またフッ素塗料への塗り替えには使用できません。
- 防凍・防かび効果は繁殖を抑制するためのもので、既に発生している被塗面には、下地処理して除去および051-1003 防凍・防かび処理剤によって殺菌処理した後、塗装してください。
- 改修塗装の場合、素地の種類によっては塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りをすることをお奨めします。(高圧水洗浄もしくはブラシ等を使用した水洗浄を行ってください。塗装後の光沢低下や、経年による塗膜のふくれ、はがれなどの原因となることがあります。)
- 旧塗膜が弾性系の塗膜(弾性リシン、弾性スタッコ)やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大する事がありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 蓄熱しやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱型住宅の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗膜環境など複数の条件が重なると、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーリング材への塗装は、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮割れなどを起こしたり、表面が汚れたりすることがありますので塗装は避けてください。やむを得ず塗装する場合は、シーリング材が完全に硬化後、シーリング材用プライマー「ロックンタックプライマー-S」を塗装してください。またプライマーで処理しても、シーリング材の種類によっては汚れ、付着不良、剥離、収縮割れが発生する場合があります。
- サイディングボード表面に反り、うねりが発生している場合は、ビスの増し打ちなど状況に応じた補修を行ってください。また補修が困難な場合はボードの張り替えをご検討ください。
- 下地、旧塗膜が脆弱な場合、また素材が強アルカリ性であることが予想される場合は、弱溶剤型シーラーを使用してください。また改修塗装で弱溶剤型シーラーを使用した場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤の影響により、ふくれ、ちぢみなどが発生することがありますので、試し塗りをした上で本塗装を行ってください。
- 比較的緻密な素材である押出成形板やGRC板へ塗装する場合は、メロコシーラーまたはハイパーシーラーエポを下塗りしてから塗装してください。
- 砂骨ローラーで塗装する場合には、最初に配り塗りを行い、その後ならし塗りをし、塗り継ぎにむらが生じないように行ってください。
- 飛散防止のため十分な養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- 養生テープは塗装後すぐにはがしてください。乾燥後では養生テープをはがしにくくなります。この場合カッターナイフなどで切り取ってください。
- 塗装方法により多少色相が異なる場合がありますので、入り隅のハケ、ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- スプレーノズルの先端は、時々洗浄してください。作業効率の低下および塗りむらの原因となります。
- ハケ、ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。
- 使用後のハケなどの用具や、手に付いた塗料はできるだけ早く水洗いして、乾くと落ちにくくなります。
- 補修部分が目立つことがありますが、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となることがあります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などにより異なる場合があります。
- ロックカチオンシーラーマルチⅢなどのシーラーを吸い込みの著しい部材に塗装する場合、「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装を行ってください。
- シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間を守ってください。

- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- シーラー類や各種上塗り塗料には防錆性がありませんので、金属製でできている部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のサビ止め塗料を下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- 塗装後24時間以内に降雨、結露があった場合、白化やシミが残る場合があります。また、低温時や高湿度、通風が悪い場合も白化やシミになる場合があります。
- 笠木、天端など長時間水の滞留する箇所では塗膜に白化、ふくれが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 塗色が比較的濃い色の場合、塗膜を強くすると色落ちすることがありますので、注意してください。
- 低汚染性については、被塗物の種類や建物の形状、施工後塗膜が十分に乾燥する前および乾燥して初期の段階で天候(気象)不良であった場合、その効果が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。
- ドアパッキン、緩衝材など可塑剤を含むプラスチック製品に塗膜が接触したり、直接塗装を行ったりすると軟化することがありますので、塗装は避けてください。
- 塗装作業中及び乾燥中は換気を十分に行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- カウンター、テーブル、いす、棚、床等への塗装は避けてください。
- この仕様書はすべての工程においてホルムアルデヒド放射等級F☆☆☆☆を使用しています。F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素地を含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗布量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆仕様でなることがありますので注意してください。
- このカタログに記載されている下塗り塗料の詳細な使用方法については、それぞれのカタログを参照ください。

### ① 安全・衛生及び取扱い上の注意

#### 【製品の危険・有害性】

危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入るとは避けてください。

#### 【救急処置】

- 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の水で洗い落とす、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

#### 【取扱注意事項】

- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて、保護手袋、保護メガネ、保護マスクを着用してください。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行い、作業衣などに付着した汚れをよく落とすしてください。
- よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから破棄してください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。

#### 【施工後の安全性について】

- 本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ベンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

※詳細につきましては、製品個々の容器に記載のPL法関連事項と安全データシート(SDS)をご参照ください。



東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2  
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000

札幌営業部 〒003-0011 札幌市白石区中央4-3-48  
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304

仙台営業部 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-31-2  
TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255

西関東営業部 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1-15-16  
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112

大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-1-47  
TEL(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000

名古屋営業部 〒454-0059 名古屋市千川区福川1-1-1  
TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433

岡山営業部 〒701-1134 岡山市北区三和1000番34  
TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966

福岡営業部 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3-2-1  
TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

URL <http://www.rockpaint.co.jp>

●本見本帳の内容については、予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

## 販売店